

# 知られざる

## 保全活動のひみつ

### 大解明

#### 保全活動って？

ふれあいの森では生きものを守るために日々「保全活動」をしています！  
しかし、保全活動というのはただ作業をすることではなく、主に3つのステップがあるのです。今回はステップごとに保全活動をご紹介します！

#### Step1 調査活動



ウグイス

#### 今の課題を見つけよう

調査活動では、今「どんな生きもの」が「どれだけ暮らしているか」を調べます。  
例えば、写真の里山を保全するときは**どんな植物がどれだけ生えているのか** 1種類ずつ調べました！調査の結果、このままではコナラやツツジなどの里山の木が年々減ってしまうことがわかりました！



#### Step2 作業実施



フクロウ

#### 実際に手を加えていこう

Step1の調査結果をもとに、必要な作業の準備と実施をします。この里山では、**増えすぎた常緑樹やネザサの伐採** 作業後は伐採した場所の経過観察をしました！伐採後の明るくなった森には徐々に様々な植物が芽を出してきました！



#### Step3 普及啓発



モズ

#### たくさんの人に伝えよう

Step1の調査でわかったことや、Step2の作業の効果を伝えることも大切な保全活動の一つです。ふれあいの森ではこのようなパネルや標本を展示して、森の生きものや活動を伝えることもしています！見に来てくださいね！



かわいい標本がいっぱい！

# これがプロの 調査道具

ふれあいの森の研究者たちは生きものの正確な調査をするために様々な道具を使いこなしています！普段はなかなか見ることがないカッコイイ道具がたくさんあるので、今回はそのほんの一部をご紹介します！

## プロの調査道具① センサーカメラ



センサーカメラは動物の動きに反応して自動で動画を撮影してくれます！人に近づきたくない動物を近くで撮影するのに打ってつけのアイテムなのです！

目当ての動物が通りそうな場所や、どんな動物が暮らしているのか知りたい場所にあらかじめカメラを設置します。さあ、今回はどんな動物が撮影できるかな…？



次の日にカメラを回収して録画を確認すると…今回はタヌキがカメラ目線で撮影できていました！撮影日や気温までも記録出来ちゃう優れものなのですよ！

## プロの調査道具② もんどり



もんどりは魚を捕まえるための道具です。網の中に餌を入れて水の中に沈めておくことで魚が入ってくるのです。もんどりは昔から漁業でも使われてきました！

調査したい池の中に餌を入れたもんどりを沈めておきます。しばらくしてワクワクしながら引き上げてみました…！どんな魚が暮らしているのかな？



もんどりの中にいた魚を凶鑑で調べてみると、この池にはギンブナなどが暮らしていることがわかりました！この調査結果を使って、これからの保全を計画します。

## 堺自然ふれあいの森

開園時間 9:00～17:30(3月～10月)・9:00～16:00(11月～2月)  
休園日 月曜(祝日の場合は、翌日休み)、年末年始  
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地

TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>

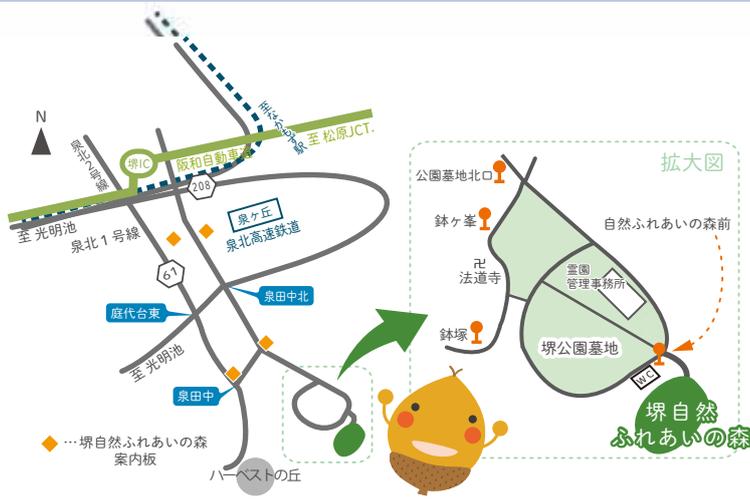
Instagramフォロー  
はこちらから！



堺自然ふれあいの森【公式】  
(@sakaishizenfureainomori)



堺自然ふれあいの森



バス 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」  
「公園墓地北口」下車 徒歩約1,200m  
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ



車 阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km  
「堺公園墓地」を目標にお越しください